

令和 2 年 7 月 13 日現在

機関番号： 14201

研究種目： 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）

研究期間： 2016～2019

課題番号： 15KK0049

研究課題名（和文）1920～30年代の日本の女性詩人・ジェンダー・主知的客観性に関する文学研究（国際共同研究強化）

研究課題名（英文）Gender and Politics in Japanese women's poetry in the 1920s and 30s (Fostering Joint International Research)

研究代表者

菊地 利奈 (Kikuchi, Rina)

滋賀大学・経済学部・教授

研究者番号： 00402701

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 11,100,000円

渡航期間： 30ヶ月

研究成果の概要（和文）： 研究期間中の二年半、オーストラリア国立大学（ANU）とキャンベラ大学（UC）にて共同研究実施。2017年には女性詩国際シンポジウムをANUにて開催、同年及び2018年にUCで開催された国際詩祭では、日本から女性詩人を招きバイリンガル朗読会等を企画・実施、2018年には東京に英語圏詩人らを集め Mutual Poetry Translation Workshop と朗読会を開催した。

共同研究者Jen Crawfordと現代日本女性詩人集を日英対訳で出版した他、オーストラリア・米国・イギリス・カナダ等の詩誌に、翻訳や論文を発表し、国際学会やシンポジウム等で女性詩について研究発表をおこなった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近現代の日本語女性詩の国際的な研究を前進させるためには、日本語詩の英訳が必要不可欠である。本研究では、文学的価値のある女性詩人作品を英訳することにより、日本語女性詩の国際的な研究の発展に寄与することを目的とし、研究・翻訳をすすめた。また、国際詩祭等でのバイリンガル朗読を通し、すぐれた日本語女性詩作品を日本語圏外に伝えることに貢献した。企画したバイリンガル朗読会は、日本国内でも国外でも一般公開とし、可能なかぎり詩人本人の自作朗読を実現し、多くの人に日本語詩の魅力を伝えた。ワークショップやセミナーにおいても多くは公開講座とし、専門知識の社会還元につとめた。

研究成果の概要（英文）： I spent 2.5 years at the ANU and University of Canberra as a visiting fellow and adjunct associate professor for my co-research projects. I have co-translated and co-edited two bilingual poetry anthologies: 'Poet to Poet' (2017) and 'Pleasant Troubles' (2018). In 2017, I organized the international symposium on Japanese women's poetry at the ANU, inviting guest speakers and poets from Europe, Japan and America. I've also organized poetry readings and translation workshops for Poetry on the Move Festival held at UC in 2017 and 2018.

Throughout my research years, I have presented my papers on women's poetry at conferences and seminars, published translations, commentaries and papers in journals, such as Meanjin (Australia), Transference (America), Modern Poetry in Translation (UK) and Contemporary Japanese Poetry Notes (Gendai-shi-techo in Japan). With my co-researcher, Jen Crawford (UC), I am now finalizing our second bilingual anthology, Japanese Women Poets in Translation.

研究分野： 文学・ジェンダー

キーワード： 近現代詩 ジェンダー 女性詩 文学 翻訳 比較文学

1. 研究開始当初の背景

オーストラリア国立大学とキャンベラ大学にて、研究者及び詩人と、日本女性詩についての共同研究をおこない、英語への共訳をすすめて、国際シンポジウムや朗読会を開催し、海外における日本語女性詩の研究の促進に寄与しようと、この国際共同研究はスタートした。

日本国内外において、まだまだ「女性詩」研究はすすんでいない。特に、アジア太平洋戦争以前の日本語女性詩人と彼女らの詩作品についての、本格的な文学研究はすすみがおそい。主知的客観性に欠け、感情の吐露や「わたし語り」に重点をおいたとされてきた戦前の女性詩人詩作品は、文学史上、価値が低いと切り捨てられてきたからである。

海外では、日本国内での戦前女性詩人らの評価がすすまないことから、女性詩人らの英訳が非常に限られている。英訳本の単著がある女性詩人は、与謝野晶子、左川ちか、伊藤比呂美など、数えるほどしかいない。英訳が限られているために、読者も限られ、研究がすすまないという悪循環に落ちいつている。

本研究は、文学史に埋もれてきた近現代の日本語女性詩人の作品に着目し、作品を英訳し、国内外において、その文学的価値を再考することを目的に、英語圏の研究者や詩人との共同研究としてはじめたものである。

2. 研究の目的

- (1) 日本国内での近現代女性詩の評価は正当なものなのか、男性研究者の割合が圧倒的に高い現実と女性詩への不当な評価には関連性がないか、考察する。
- (2) 戦前と戦後の女性詩の「連続性」を考察し、戦前女性詩人らの作品を「土台」として、戦後女性詩が開花したことを分析する。
- (3) 上記2点を国際的な研究として英語圏ですすめるために、英語圏の研究者や詩人との共訳作業として、日本語女性詩を英訳。
- (4) 日本国外でも、日本語女性詩が読まれ、研究が盛んになるように、共同研究をおこなったオーストラリアにて、女性詩を主題としたシンポジウム、女性詩人が書いた日本語詩の英訳ワークショップ、女性詩人らをオーストラリアに招き日英バイリンガル朗読会等を開催。

3. 研究の方法

- (1) 日本、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアなどから研究者、詩人、翻訳者を招き、オーストラリア国立大学にて近現代女性詩についての国際シンポジウムを開催 (International Symposium on Poetry and Translation: Women, Politics, Displacement)。
- (2) 日本語女性詩に親しんでもらい、英語に訳す楽しみを体験してもらうための、翻訳ワークショップの開催。(キャンベラ大学で開催された国際詩祭 Poetry on the Move (2017年)にて、翻訳ワークショップを開催するなど、オーストラリアと日本、それぞれで開催)
- (3) 日英バイリンガルアンソロジー出版にむけての、近現代女性詩の英訳。また、アンソロジーの出版。
- (4) 日英バイリンガル朗読会の開催。また、オーストラリア国内での朗読会における、日本語女性詩の詩の朗読。
- (5) 日本語女性詩研究の国際的な発展のために、論文や翻訳を、英語圏の学術誌、雑誌、詩誌に発表。

4. 研究成果

- (1) 在外研究先のオーストラリア国立大学にて、ANU Japan Institute の協力を得て、国際シンポジウム「International Symposium on Poetry and Translation: Women, Politics, Displacement」(2017年9月)を開催した。

<http://japaninstitute.anu.edu.au/events/international-symposium-poetry-and-translation-women-politics-displacement>

- (2) 女性詩の英訳は、*Westerly* (オーストラリア) や *Transference* (アメリカ) 等の詩誌・学術誌に掲載された。また、科学研究(国際共同研究強化)との連携により、在学研究先で共訳作業の幅が大きくひろがった。研究開始時には、戦前作品のみを研究対象としていたが、共同研究をすすめるうちに、日本国外においては、日本の戦後作品においても、読まれている女性作品が非常に限定されていることが判明したため、戦前にかぎることなく、現代女性詩(戦後作品)についても、必要に応じて英訳をおこなった。

英訳した女性詩の一部は、キャンベラ大学准教授の Jen Crawford との共編で、*Poet to Poet: Contemporary Women Poets from Japan* (Recent Work Press, 2017) として出版した。本書については、*Modern Poetry in Translation* (UK)、*Poetry Tokyo*、*Japan Times* などに書評が掲載された。

- (3) 研究期間中、Japanese Studies Association of Australia 等の国際学会及び、日本国内外のセミナーやシンポジウムにおいて、研究発表をおこなった。研究開始当初は、20年代から30年にかけて発展したモダニズム詩における女性詩人の活躍、特に左川ちかや江間章子の作品に着目。Japanese Studies Association of Australia 等でモダニズム詩の発展に貢献した女性詩人らの作品に

ついて研究発表をおこなった。

その後、戦前詩の調査をすすめるなかで、30年代からは社会的・政治的背景、特にアジア太平洋戦争の影響を色濃く受けた詩が女性によっても多く発表されたことに着目。女性詩が20年代から30年代にかけていかに変容したかに注目し、戦前・戦中に書き続けた女性詩人、生田花世、江間章子、深尾須磨子、英美子などの作品についての分析をすすめ、日本国内外において研究発表をおこなった。

(4) 2018年にはオーストラリア国立図書館のアジア研究研究員（Asia Study Grant, National Library of Australia）に選ばれ、20年代から40年代にかけての文献研究をおこなった。30年代以降の詩誌、女性詩、フェミニズム運動の中で、徐々に戦争色を強く反映した作品が描かれるようになったこと、その転機が1937年にあることが明確となった。これまで、女性詩人の戦争責任については深く言及されてこなかったが、女性作家、フェミニズム運動家、女性画家、そして当時の男性詩人ら同様、女性詩人らが愛国詩や国民詩、プロパガンダに大きくかかわってきたことが判明した。そのため、20年代から30年代、そして40年代にかけての「詩のつながり」を重視し、1945年の敗戦までの女性詩人の作品を視野にいれ、収集にあたった。

(5) 主眼は戦前にすえたうえで女性詩研究をすすめてきたが、国際共同研究における調査結果等をふまえ、海外における日本語女性詩の英訳不足は戦前作品に限らないことが判明したため、研究対象はひろがりを見せ、結果的に、必要に応じて戦後の現代女性詩をも含めることになった。戦前の作品にかぎらず、現代女性詩人作品においても積極的に英訳をおこなうこととなったため、研究期間中の研究業績には、戦後女性作品に関するものも含まれる。

(6) 国際共同研究の一環であった詩の共訳作業が、当初考えていた以上に重要な位置をしめることとなり、詩の翻訳を通して、さまざまな研究が派生した。たとえば、キャンベラ大学で開催された国際詩祭 Poetry on the Move Festival 2017では、西ミシガン大学教授で翻訳家の Jeffrey Angles とともに、日本語詩の翻訳ワークショップを開催することになった。実際に日本語詩の英訳について講じ、ワークショップから生まれた英訳詩のなかから、オーストラリアの詩誌に掲載された作品もでた。

これらの共訳プロジェクトから、詩の翻訳を通じた文化交流が誕生し、日本語圏・英語圏の詩人たちとの詩の翻訳を通じた相互翻訳ワークショップの企画にもつながった（2018年7月明治大学）。学術的な貢献にとどまらない、詩を通じた社会貢献にも寄与することとなったことは、大きな成果であると思っている。今度も、学術的な文学研究のみにとらわれず、女性詩人らの詩作品が、広く、日本国内外で読まれることに、貢献していきたい。

(7) 現在、2冊目の日本語女性詩アンソロジーの出版準備をすすめている（co-editor Jen Crawford）

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計18件（うち査読付論文 16件 / うち国際共著 14件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 Rina Kikuchi & Jen Crawford	4. 巻 1
2. 論文標題 For You by Ishikawa Itsuko tr. by Rina Kikuchi & Jen Crawford	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Modern Poetry in Translation	6. 最初と最後の頁 n/a
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Rina Kikuchi & Harumi Kawaguchi	4. 巻 5
2. 論文標題 Rina Kikuchi & Harumi Kawaguchi translate Vahni Capildeo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Polyglot: Unfaithful: Poetry in Translation	6. 最初と最後の頁 54-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Rina Kikuchi	4. 巻 223
2. 論文標題 'centaurea cyanus' Itsuko Ishikawa translated by Rina Kikuchi	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Stand	6. 最初と最後の頁 76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 菊地利奈	4. 巻 4月号
2. 論文標題 オーストラリア発! 英語圏共同翻訳の試み #2	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 118-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菊地利奈	4. 巻 3月号
2. 論文標題 オーストラリア発！ 英語圏共同翻訳の試み#1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 66-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rina Kikuchi	4. 巻 6
2. 論文標題 Four Poems by Yoshiko Hanabusa	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transference: literary journal featuring poetry in translation	6. 最初と最後の頁 39-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 菊地利奈	4. 巻 416
2. 論文標題 現代詩研究におけるナショナリティという「枠」についての考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 彦根論叢	6. 最初と最後の頁 36-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rina Kikuchi & Cassandra Atherton	4. 巻 77
2. 論文標題 And the bright morning comes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Meanjin	6. 最初と最後の頁 10-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuchi & Carol Hayes	4. 巻 vol.5
2. 論文標題 Untitled Nonsense, She, and Contradictions by Yoshihara Sachiko	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Transference	6. 最初と最後の頁 54-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuchi & Jen Crawford	4. 巻 Vol. 81
2. 論文標題 Three Translated Takako Arai Poems	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cordite Poetry Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 菊地利奈	4. 巻 141
2. 論文標題 '翻訳詩と出会って 日本女性詩人パイリンガル朗読会	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ミテ	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuchi & Melinda Smith	4. 巻 62.2
2. 論文標題 'Welcome Home' by Kawaguchi Harumi	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Westerly	6. 最初と最後の頁 187-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuch & Niloofar Fanaiyan	4. 巻 62.2
2. 論文標題 'The Gift' by Misumi Mizuki	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Westerly	6. 最初と最後の頁 177-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuchi & Paul Munden	4. 巻 62.2
2. 論文標題 'Soles' by Ishikawa Itsuko	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Westerly	6. 最初と最後の頁 183-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuchi & Shane Strange	4. 巻 62.2
2. 論文標題 'Head Ache' by Kono Satoko	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Westerly	6. 最初と最後の頁 191-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuch & Subhash Jaireth	4. 巻 62.2
2. 論文標題 'Into White Darkness' by Misaki Takako	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Westerly	6. 最初と最後の頁 195-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rina Kikuchi & Carol Hayes	4. 巻 265
2. 論文標題 Annotated Translations: Three Poems by Yoshihara Sachik	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Shiga Univesity Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rina Kikuchi & Carol Hayes	4. 巻 4
2. 論文標題 My Daughter 's Room, Stone Monument and Girl 2	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Transference	6. 最初と最後の頁 45-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 Rina Kikuchi
2. 発表標題 For women by women: gender and politics in Fukao Sumako 's poetry
3. 学会等名 Cold War Lives and Literatures Workshop (UNSW Canberra, School of Humanities and Social Sciences)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rina Kikuchi & Jen Crawford
2. 発表標題 Not Very Quiet: Australian Poets, Japanese Influences
3. 学会等名 That Poetry Thing (Smith's Alternative, Canberra) (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rina Kikuchi
2. 発表標題 Feminism and Imperialism in Women's Poetry during the Asia-Pacific War
3. 学会等名 War Feminism and Cold War Lives Workshop (Australian National University)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rina Kikuchi
2. 発表標題 Continuity/Discontinuity in the 30s and 40s: women's poetry before/during/after the Asia-Pacific War Japan
3. 学会等名 International Symposium on Poetry and Translation: Women, Politics, Displacement (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Rina Kikuchi
2. 発表標題 Cultural Exchange through Poetry: Tanka-translation and Tanka-in-English in Australia
3. 学会等名 Japan in Australia (University of Queensland) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 Rina Kikuchi with Harumi Kawaguchi	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Recent Work Press	5. 総ページ数 66
3. 書名 Pleasant Troubles	

1. 著者名 Rina Kikuchi & Jen Crawford	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Recent Work Press	5. 総ページ数 255
3. 書名 Poet to Poet: Contemporary Women Poets from Japan	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>International Symposium http://japaninstitute.anu.edu.au/events/international-symposium-poetry-and-translation-women-politics-displacement Poetry on the Move 2017 https://www.canberra.edu.au/research/faculty-research-centres/cccr/ipsi/events/potm2017 POTM Episode10 https://www.poetryonthemove.org/podcast/potm-ep10-hiromi-ito/ POTM Episode 14 https://www.poetryonthemove.org/podcast/potm-episode-14-takako-arai-paul-munden/</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	クロフォード ジェン (Crawford Jen)	キャンベラ大学・Faculty of Arts and Design・Assistant Professor	
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	ヘイズ キャロル (Hayes Carol)	オーストラリア国立大学・College of Asia & the Pacific・Associate Professor	